

次号予告

特集 ゲーム理論のフロンティア

非協力ゲーム理論の最近の展開

……………岡田 章(埼玉大)

協力ゲームの仁とシャーププレイ値

——破産問題をめぐって……船木由喜彦(東洋大)

社会選択ルールの実行可能性とゲーム理論

……………渡辺隆裕(東工大)

ハイパーゲーム分析：知覚を考慮したゲーム理論

……………木嶋恭一(東工大)

生物における相互協力関係の理論

……………松田裕之(日本医科大)

ビジネスにおけるゲーム論……………青井倫一(慶応大)

連載講座

ベトリネットのシミュレーションへの応用

……………椎塚久雄(工学院大)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	高森 寛	青山学院大学
副委員長	高井 英造	三菱石油㈱
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	工学院大学
	上野 哲郎	関東学園大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	川野幸三郎	日本ユニカー㈱
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサービス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢部 博	東京理科大学

編集後記●「月日は百代の過客にして、行きかう年も又旅人なり」(芭蕉「奥の細道」)。時の流れは永遠であり、われわれ人間には計り知れないものである。過去から現在へ、現在から未来へと移りゆく時間を尺度として、それでも何らかのデータを集めれば「時系列」が手に入る。得られた情報をもとにしてその裏側にある「何か本質的なもの」を推測するために、モデルをたてる。差分方程式であるかも知れないし、微分方程式であるかも知れない。モデルの適合性を検討するために実際問題にフィードバックして、必要ならば再びモデルの立て直しを行なう。まさにORの醍醐味そのもの。

そういうわけで、今回は「時系列分析」を特集しました。理論的な立場からと、金融・電気通信・制御問題などへの応用の立場から、それぞれ原稿を書いていただきました。時系列分析の最新情報をお楽しみください。

●さて、今月はOR学会の大きな行事として、第22回シ

ンポジウムと1989年度秋季発表会があります。まず17日(火)には「数理計画法の最近の進歩と知的所有権」のシンポジウム。線形計画法に対する内点法(カーマー法を含む)の話題が中心で、特に昨年から注目を集めている特許の件は、最近、知的所有権問題がうるさく言われていること、また数学的な計算手順が特許の内容の一部に含まれていることなどから、大変に興味深い話題です。カーマー法を含む内点法の研究に関してはOR誌でも今までに2回取り上げています。1987年1月号の「線形計画法の最近の発展」と1989年3月号の「線形計画法の新潮流」です。この機会にもう一度読み直してみたいかがでしょうか。

もう1つの行事として、18日(水)、19日(木)の2日間にわたって東京理科大学(野田校舎)セミナーハウスで、秋季発表会が開催されます。いろいろと興味深い発表があるものと楽しみです。(矢部 博)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成元年10月号 第34巻 第10号 通巻346号

代表者 森村 英典

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ